

## (人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

このたび以下の研究を実施いたします。本研究への参加・協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に参加・協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】 アルツハイマー病および多発性硬化症における脳病態分子ネットワークの解明に関する研究

【研究責任者】 国立精神・神経医療研究センター病院 臨床検査部 佐野輝典

(2020 年 4 月より、研究責任者が齊藤祐子から佐野輝典に変更になりました。)

## 【本研究の目的及び意義】

アルツハイマー病 (AD) は大脳にアミロイドベータという異常なタンパク質がたまり、中高年期に認知症を発症する病気で、現在有効な治療薬はありません。多発性硬化症 (MS) は若年期に好発し、脳の白質に炎症性脱髄を多発する病気で、現在その治療薬としてインターフェロンベータの注射が実施されていますが約 3 割の症例にしか有効ではありません。これらの病気はどちらも中枢神経系を傷害する難病であり、根本的な原因についてはまだ良く分かっていないことが多く、現在も多くの研究が盛んに行われています。本研究では、病理組織学的研究、免疫組織化学的研究、ウェスタンブロット法によるタンパク質レベルの発現解析、マイクロアレイ、RNA-Seq 法、リアルタイム PCR 法による mRNA, non-coding RNA レベルの網羅的発現解析など、さまざまな手法を用いて、AD 脳および MS 脳における複雑な神経変性関連分子、神経炎症関連分子の分子ネットワークを明らかにし、創薬の標的分子を探索いたします。研究使用に同意をいただきました患者様の脳組織に発現する分子を詳しく調べることにより、これらの病気の原因を明らかにして、治療法や早期診断のための検査方法を開発することを目的としています。

## 【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

2007 年 1 月 1 日より 2016 年 12 月 31 日までの間に、国立精神・神経医療研究センター病院 臨床検査部で代諾者(ご遺族)が患者様の死後脳(剖検脳)の研究使用に関して同意し、ブレインバンクに提供された方のうち、アルツハイマー病または多発性硬化症と診断された方、およびそのコントロールとなり得る方

利用する試料・情報等

試料：剖検脳組織

情報等：診療録（診断名アルツハイマー病、多発性硬化症など）

研究期間

2017 年 11 月 1 日より 2021 年 10 月 31 日まで

**【共同研究機関】**

明治薬科大学                      研究責任者 佐藤 準一（研究代表者）  
東京大学医科学研究所          研究責任者 井上 悠輔

**【個人情報の取扱い】**

研究対象者(患者様)の試料や情報等の研究データは個人を特定できない形式に変換して厳密に管理されます。

2020 年 7 月

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院  
所属 臨床検査部 病理検査室 氏名 齊藤祐子、佐野輝典  
電話番号：042-341-2711（代表）  
e-mail：Yukosm@ncnp.go.jp

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局  
e-mail：ml\_rinrijimu@ncnp.go.jp